

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公開番号】特開2000-56448(P2000-56448A)

【公開日】平成12年2月25日(2000.2.25)

【出願番号】特願平11-105328

【国際特許分類】

|               |              |                  |
|---------------|--------------|------------------|
| <b>G 03 F</b> | <b>7/00</b>  | <b>(2006.01)</b> |
| <b>B 41 N</b> | <b>1/14</b>  | <b>(2006.01)</b> |
| <b>G 03 F</b> | <b>7/039</b> | <b>(2006.01)</b> |

【F I】

|        |       |       |
|--------|-------|-------|
| G 03 F | 7/00  | 5 0 3 |
| B 41 N | 1/14  |       |
| G 03 F | 7/039 |       |

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月7日(2006.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

親水性表面を有する平版印刷ベース上に、水性アルカリ性溶液中に可溶性のポリマーを含む第1層ならびに平版印刷ベースの第1層と同じ側の上の最上層を有し、最上層はIR-感受性で且つ水性アルカリ性現像液に関して非浸透性であり、該第1層及び該最上層は1つの同じ層であることができる平版印刷版の作製のためのヒートモード画像形成要素であって；該要素の表面が、露出され且つ水性アルカリ性現像液で処理されると、

a) 画像形成要素の非露出領域と水性アルカリ性現像液との間の接触角が該現像液との接触の最初の1分間に最高で6°変化し；

b) 画像形成要素の露出領域と水性アルカリ性現像液との間の接触角が該現像液との接触の最初の1分間に15°より大きく変化し；

c) 画像形成要素の一方の側における非露出領域及び他方の側における露出領域の間の水性アルカリ性溶液との接触角における差が測定の開始時において10°以下であるようなものであることを特徴とするヒートモード画像形成要素。

【請求項2】

画像形成要素の非露出領域と水性アルカリ性溶液との間の接触角が測定の開始時において少なくとも100°である請求項1に記載の平版印刷版の作製のためのヒートモード画像形成要素。

【請求項3】

接触の最初の1分間ににおける画像形成要素の露出領域と水性アルカリ性現像液との間の接触角における変化が20°より大きい請求項1に記載の平版印刷版の作製のためのヒートモード画像形成要素。

【請求項4】

水性アルカリ性溶液中に可溶性のポリマーがノボラックポリマー又はポリヒドロキシチレン単位を含有するポリマーである請求項1に記載の平版印刷版の作製のためのヒートモード画像形成要素。

【請求項5】

該画像形成要素がIR吸収性化合物を含有する請求項1に記載の平版印刷版の作製のためのヒートモード画像形成要素。